



あなたは「困った」が言えますか？

今の中学生は、残念ながら、入学したときからコロナ禍の中にいます。世の中は、先が見えない不安感やイライラが漂っています。それでも皆さんは、ご家族の支えを受けながら、毎日の学校生活を頑張ってくれています。そんな皆さんでも、大なり小なり、悩みやつらいことがあるのではないのでしょうか？それに対して、皆さんはどうしていますか？

今日言いたいことは、「困ったときに、そのことを誰かに相談できますか？」ということです。自分で解決できるという人は、もちろん、それでもかまいません。でも、強い人ばかりではないですよ。誰かに助けを求めたいと思うことがあっても、当たり前のことです。大切なのは、そう思ったときに、話せる誰かがいるかどうかということです。家族、友だち、学校の先生・・・誰でもいいです。相手の顔が思い浮かびますか？

私たち教師は、よく「困ったら、いつでも相談してね。」と言います。そう聞いて、皆さんはどう思いますか？「じゃあ、今度相談してみよう。」と思ってくれたら、とてもありがたいことです。逆に、「どうせ相談しても解決しない。」と思われるとしたら、それは、私たちが反省しなければなりません。

後者の場合を、少し考えてみたいと思います。世間では、時折、いじめを受けていることを先生に相談したのに、適切な対応をしてくれなかったというような、学校現場にいる者としては耳を疑うような報道がされることがあります。こういったニュースを聞くと、もしかすると皆さんの心理の中には、「どうせ先生に言っても助けてくれない。」という思いが芽生えるかもしれません。だとしたら、そういう思いを消し去る努力を、私たちは全力でしなければなりません。

「相談相手に迷惑をかけてしまう。」「自分一人で解決できないことが、情けない。」というような不安から相談することをためらう人もいるかもしれません。「そんなこと気にしなくていいんだよ。」と言っても、こういう優しい人は、気にしてしまうんでしょうね。「相談するタイミングが分からなくて、声がかけれない。」という人もいるかもしれません。自力で対応しようとするのと、助けを求めようとするとのバランスを含めて、私たちは、皆さんに丁寧に伝えていくことが必要なのだと考えます。

そうは言っても、私たちも、いい解決策が思いつくとは限りません。それが、正直なところです。しかし、一緒に悩むことはできます。一緒に考えることはできます。一緒に考えさせてください。それによって、少しでも気持ちが楽になるのであれば、私たちにとってもありがたいことです。そう思ってもらえるように、私たちも頑張ります。

繰り返しますが、困ったときに、そのことを誰かに相談できますか？家族、友だち、学校の先生・・・誰でもいいです。一人で、悩み続けなくてくださいね。



「つもり」のままではダメ！

金曜日に中間テストが終わり、今週は、答案が返されますね。手応えはどうでしたか？「プラス1点」を意識して、努力できましたか？自分なりに頑張れたという人は、立派ですよ！次は、返された答案を、どう処理するかが重要です。授業で説明があると思いますが、そのときは、分かったつもりにしかありません。本当に分かったかどうかは、後で解き直してみることでしか、確認できません。ですから、間違った問題は、必ず解き直して、自力でクリアできたかどうかでチェックしてください。クリアできなければ「つもり」のままですから、どんどん先生に質問しましょう！